

# 2018年度 事業報告

(第17期 2018年4月1日～2019年3月31日)

特定非営利活動法人お笑い事業団ニイガタ

## I 2018年度活動の重点

### 1. お笑い出前推進事業 —高齢者健康増進（医療費削減）運動—

笑いは免疫力を高め、病気に効果があると「医学界」でも認められている。少しでも医療費の減少が、笑いを通じてよい効果があれば各地区のコミュニティを単位に、調査研究を実施したい。

### 2. お笑いで世代間交流を深め活発な地域をつくる

年代を超えた多くの人たちに事業団の活動を周知するとともに、市民の生活の隅々にお笑いを浸透させ、地域での世代間交流を図り社会教育の向上につなげる。

### 3. 派遣先の拡大に向けた活動

県内全域の「高齢者施設」「事業所」「地域」などの派遣先の拡大に向けた活動を積極的に行なう。自治協、コミ協、市民活動団体と協力・連携・情報交換を図る。

## II 実施事業

### 1. 芸人・講師 派遣事業

#### ①「お笑い芸人」「お笑い講師」「お笑いチーム」等の派遣事業

各種団体・高齢者施設・行政の要請に応じて「お笑い使節団」芸人・講師を派遣した。

◆2018年度派遣実績・・・81回の出演、観客数4,740人、出演者181人

年度	派遣回数	観客数
平成18年	13	520
平成19年	38	1,140
平成20年	58	2,030
平成21年	64	3,427
平成22年	57	2,760
平成23年	69	3,434
平成24年	82	3,952
平成25年	130	7,918
平成26年	94	4,817
平成27年	77	3,897
平成28年	84	4,089
平成29年	88	4,190
平成30年	81	4,740
計	935	46,914

◆上越では飯田恵輔会員が6回の出演を実施。派遣事業の拡大に寄与する。

#### ◆定期公演の拡充

- (1)よろっとローサ（年22回）
- (2)いこいの家・老人福祉センター（年8回）
- (3)しもまちお互い様ランチ（年6回）

#### ◆他

- ・ボランティア派遣（清水勝理事）へ出演。
- ・古町どんどん2018秋（10/6-7, 9名）
- ・キッズフェスタ2019（2/9-10, 9名）

◆コミ協、自治会、老人クラブへ派遣事業の広報活動（運営委員会では対応）

## 2. 「第17回 越後笑劇場」を開催

◆ 11月23日（金・祝）午後1時より新潟ふるさと村にて開催。

事業団所属芸人（お笑い使節団）の集大成として、「新潟ふるさと村寄席」を公演。

さらに「笑年隊」再デビュー、「越後村上トリオ」踊りを披露。出演芸人スタッフ総勢17名、観客数はのべ121名。

## 3. 「お笑い発表会・・・観る・参加する・体験する」を開催

芸のレベルアップ、新ネタへの挑戦、場慣れ、等々のために観客の前で演じる機会を設けた。観客には参加体験型の笑いも提供した。

◆ 9月8日（日）、10月27日（日）午後1時より新潟ふるさと村庭園内民家で開催。両日とも40人程の観客、12組の芸人が参加。

## 4. 交流事業

① 「日本笑い学会新潟支部」「新潟県NPO協会」「新潟市市民活動支援センター」「新潟お笑い集団NAMARA」「ボランティアネットワークさんわ」「ウクレレ遊」「新潟中央真向会」「ビバジイ」等と交流や連携を図った。

② 「お笑い交流会」を開催

◆ 5月27日（日）総会後に交流会（22名参加）。

◆ 2月3日（日）新春交流会（28名参加）

③ 「コミ協との交流会」に参加、11月27日：新潟市中央区のコミュニティ協議会へPR。（運営委員会で対応）。

④ 「古町どんどん2018」にブース出店、10名参加。10月6日-7日。

⑤ 「キッズフェスタ2019」に出演、2月9日、10日：のべ760人の来場があり、ブースやステージで子どもたちから芸を体験してもらった。（芸人7組出演）

## 5. 総会・理事会・運営委員会を開催

5月27日 社員通常総会、第1回定例理事会

10月13日 第2回定例理事会

4月～3月 月1回ペースで運営委員会を開催

## 6. 寄付、助成金等について

(1) 2018年度は助成金・補助金等は獲得できなかった。

(2) 2019年度、県民たすけあい基金助成事業へ申請 → 採択される。

## III その他

(1) 会員の動向

退会 今井多恵子さん、岩島洵子さん、齋藤正人さん

入会 なし

2019年度期首会員数：49（個人：44名、団体：3社、賛助2名）